

日本からのアイスランド旅行計画に当たっての留意点

アイスランドは、ブルーラグーンに年間約100万人が来場するなど、観光地として大きな魅力のある国です。同時に、アイスランド旅行に当たっては、日本とはかなり異なる課題があります。アイスランドを無事に楽しんでいただく上で、いくつか留意すべき点を整理しました。ご参考となれば、幸いです。

1. 全般

(1) 治安状況

アイスランドの治安状況は比較的よいとされています。ただし、最近では旅行者を狙ったスリの被害も増えており、注意が必要になっています。

当館では、安全に関する注意喚起の発信や渡航情報の改訂を随時行っております。これらの最新情報は「[外務省海外安全ホームページ](#)」でも発信していますので、是非ご確認ください。

(2) 物価

アイスランドの物価水準は、日本の3倍以上です。比較的リーズナブルな価格で外食する場所は限られています。旅行に際して、どこで食事をするかを事前に計画する方がよいです。

(3) キャッシュレス

アイスランドはほぼ完全にキャッシュレスで、ホテルを含め現金が使えるところはまずありません。すべてカード払いです。

2. ホテル

アイスランドのホテルは、いつも混んでいます。数か月前から予約を入れるのが無難です。直前までキャンセル無料の申し込みもあります。

3. フライト、乗り継ぎ

日本からアイスランドへのフライトは、ヘルシンキ、ロンドン、フランクフルトなどで乗り継ぎを利用することになります。乗り継ぎ先となる欧州の中でのフライトが混んでいることが多いので、ホテル同様、数か月前から予約を入れるのが無難です。

なお、ヘルシンキやフランクフルトでの乗り継ぎに当たっては、保安検査、入国審査の二つがあります。シェンゲン条約国の中に入るので、入国審査に時間を要します。

ロンドンでの乗り継ぎの際は、アイスランド到着時にシェンゲン条約国の中に入るので、入国審査に時間がかかります。

4. 車の運転

アイスランド旅行に際して、空港でレンタカーを借りて観光地に向かわれる方が多いです。アイスランドでの車の運転には細心の注意が必要であり、以下は例示です。

[こちら](#)のページでも自動車を運転する際の注意事項をまとめているので併せてご確認ください。

○安全運転

乱暴な運転、車間距離を詰めてくる車が見られますが、安全運転に徹することです。

○道路インフラ

レイキャビク市内でも、道がわだちでうねったところがあります。市外に出ると、ガードレールなし、街灯なしも多いです。冬は真っ暗になります。

○駐車場

観光施設の駐車場は有料の場所が多々あります。支払い方法は、現地で支払機を通じて支払うかアプリ等によりオンラインで支払うかのいずれかです。ゲートによる入退管理や有人の支払施設はありません。駐車料金を支払わないと後日高額の請求が来る場合があります。

○環状交差点(ラウンドアバウト)

アイスランドの交差点は、信号機のない環状交差点(いわゆる「ラウンドアバウト」)が多く、右に慣れていない日本の旅行者には注意が必要です。ラウンドアバウトでは、進入時及び回転時の何れも自身の左側にいる車両が常に優先されます。以下のようなルールを守ることが必須となりますので、衝突事故に遭わないためにもルールに注意しましょう。

5. 健康管理、気候

アイスランドの天候は、一日のうちでも変わりやすく安定していません。強風が吹くこともあります。常に天候の変化に備えた服装が必要です。

6月、7月は真夜中まで明るい日が続きます。12月、1月は日照時間が4時間程度です。日照時間の変化に対して睡眠時間の確保、ビタミンDの摂取などが重要です。

また、救急時を除いては、旅行者を含め外国人がアイスランドで医療機関を受診するのは容易ではありません。軽い体調不良などに備え、必要な市販薬などを持参するのがよいでしょう。